

「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」に係る 2020 年度事業実績の報告について

生涯学習部では、2019年3月に「町田市教育プラン2019-2023」で定める生涯学習施策を具現化するためのアクションプラン（行動計画）として、「町田市生涯学習推進計画2019-2023」を策定しました。生涯学習推進計画に定めた取組を着実に推進するため、年度ごとに達成状況を確認することとしていましたが、この度2020年度の事業実績がまとまりましたので、報告いたします。

- 1 取組項目 39 件
※うち 15 件は、「町田市教育プラン 2019-2023」に掲げる重点事業

- 2 評価方法 6 段階評価（次ページ表参照）
※各取組項目の活動指標ごとに、下記の達成状況の基準によって評価しており、「2021 年度町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2020 年度分）」に準じています。
※上位計画である「町田市教育プラン」では、「2021 年度町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2020 年度分）報告書」において、2021 年度は達成基準に「F 評価することが難しい」を設け、状況を踏まえた評価を行えるようにしています。このため、生涯学習推進計画においても同様に、2021 年度は達成基準に「F 評価することが難しい」を設けました。

評価		達成状況の基準、考え方
A	計画以上に目標を達成した	効果的で優れた取組を行い、年度目標を上回って達成し、最終年度の目標達成に向けて大きな成果があった。
B	目標を達成した	効果的な取組を行い、年度目標を達成し、最終年度の目標達成に向けて成果があった。
C	おおむね目標を達成した	年度目標には達しなかったものの、効果的な取組を行い、最終年度の目標達成に向けて一定の成果があった。
D	目標に達しなかった	取組を行い、一定の成果はあったものの、年度目標を達成することができず、最終年度の目標達成に向けて課題や問題点があった。
E	目標を大きく下回った、実施できなかった	取組を行わなかった、または行ったものの成果があらなかった。 大きな課題や問題点があり、取り組むことが困難で滞っている。
F	評価することが難しい	新型コロナウイルス感染症の影響による制限をうけ、目標を達成するための取組を行うことができなかった。そのため、当初の計画にとらわれず、施策の目的達成に向けて柔軟な対応を行った。

3 市民への公表

町田市ホームページに掲載。

町田市生涯学習推進計画 2019 - 2023

事業実績（2020年度分）報告

2021年10月

町田市教育委員会

目 次

1	事業実績の報告について	1
2	達成状況の評価基準	2
3	評価の対象となる取組.....	3
4	2020年度に実施した取組の事業実績	
	施策 1 家庭教育を支える環境を整備する	
	取組 1-1～1-4 の事業実績.....	4
	施策 2 学びのきっかけとなる機会を提供する	
	取組 2-1～2-10 の事業実績.....	8
	施策 3 学習を“広げる・深める”を支援する	
	取組 3-1～3-8 の事業実績.....	18
	施策 4 学習成果を活かす機会を充実する	
	取組 4-1～4-8 の事業実績.....	26
	施策 5 学習を支える環境づくりを進める	
	取組 5-1～5-9 の事業実績.....	34

1 事業実績の報告について

(1) 目的

町田市教育委員会では、2019年3月に「町田市教育プラン（以下、「教育プラン」という。）2019-2023」で定める生涯学習施策を具現化するためのアクションプラン（行動計画）として、「町田市生涯学習推進計画（以下、「生涯学習推進計画」という。）2019-2023」を策定しました。「生涯学習推進計画 2019-2023」は、教育プランで定めた「重点事業」を中心に39の取組を定めています。

町田市教育委員会では、本計画に定めた取組を着実に推進するため、達成状況を年度ごとに確認し、事業実績を毎年度公表します。

(2) 新型コロナウイルス感染症による影響について

町田市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症対策として、所管する生涯学習施設を休館したり、イベント等を中止したりするなど、多くの対策を講じてきました。今回評価を行った取組の中にも、影響を受けた取組が多くあります。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業を中止・延期をするという判断を余儀なくされたものもあり、一方で、感染リスクを低減させる対策を講じ、様々な工夫を重ねたうえで、事業を実施できたものもあります。

こうした事情を踏まえ、上位計画である「町田市教育プラン」では、「2021年度町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（2020年度分）報告書」において、2021年度は達成基準に「F 評価することが難しい」を設け、状況を踏まえた評価を行えるようにしています。このため、生涯学習推進計画においても同様に、2021年度は達成基準に「F 評価することが難しい」を設けることとします。

今後も、「生涯学習推進計画 2019-2023」を基本として取組みながらも、新型コロナウイルス感染症対策も含め、生涯学習を取り巻く環境の変化を十分に注視して取組むとともに、目標設定や取組に対する評価について様々な検討を行う必要があります。

2 達成状況の評価基準

各取組の評価は、活動指標ごとに、下記の達成状況の基準により行っています。

評価		達成状況の基準、考え方
A	計画以上に目標を達成した	効果的で優れた取組を行い、年度目標を上回って達成し、最終年度の目標達成に向けて大きな成果があった。
B	目標を達成した	効果的な取組を行い、年度目標を達成し、最終年度の目標達成に向けて成果があった。
C	おおむね目標を達成した	年度目標には達しなかったものの、効果的な取組を行い、最終年度の目標達成に向けて一定の成果があった。
D	目標に達しなかった	取組を行い、一定の成果はあったものの、年度目標を達成することができず、最終年度の目標達成に向けて課題や問題点があった。
E	目標を大きく下回った、実施できなかった	取組を行わなかった、または行ったものの成果があがらなかった。 大きな課題や問題点があり、取り組むことが困難で滞っている。
F	評価することが難しい	新型コロナウイルス感染症の影響による制限を受け、目標を達成するための取組を行うことができなかった。そのため、当初の計画にとらわれず、施策の目的達成に向けて柔軟な対応を行った。

3 評価の対象となる取組

施策1 家庭教育を支える環境を整備する		
取組	1-1	保護者向けの学習機会の充実【◇】
	1-2	家庭教育支援の担い手育成・活動支援【◇】
	1-3	保育室を利用した家庭教育支援事業の促進
	1-4	親子でことばに触れる機会の充実
施策2 学びのきっかけとなる機会を提供する		
取組	2-1	学習情報の発信力の強化【◇】
	2-2	歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】
	2-3	子ども読書活動の推進【◇】
	2-4	学校図書館との連携強化【◇】
	2-5	生涯学習施設の利用促進
	2-6	読書普及事業の充実
	2-7	シニア世代向け事業の充実
	2-8	障がい者サービスの充実
	2-9	図書館資料による情報提供機会の充実
	2-10	「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実
施策3 学習を“広げる・深める”を支援する		
取組	3-1	地域の課題解決に向けた学習支援【◇】
	3-2	町田の歴史情報の提供【◇】
	3-3	「文学の扉」事業の推進【◇】
	3-4	文化財の維持・保護・復旧の推進
	3-5	文化財の公開・活用の充実
	3-6	展示事業の充実
	3-7	講座・講演会事業の充実
	3-8	レファレンスサービスの充実
施策4 学習成果を活かす機会を充実する		
取組	4-1	市民提案型事業の推進【◇】
	4-2	協働による研究・発表の推進【◇】
	4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】
	4-4	学習成果の発表機会の支援
	4-5	生涯学習ボランティアバンク事業の推進
	4-6	障がい者の学習成果を発表する場の充実
	4-7	図書館運営の地域協働化の促進
	4-8	市民の文学活動への支援
施策5 学習を支える環境づくりを進める		
取組	5-1	支援が必要な人への学習機会の提供【◇】
	5-2	本と出会う場所の創出【◇】
	5-3	文化財の保存と活用環境の整備【◇】
	5-4	歴史・文化資源の調査・研究・保存
	5-5	図書館利用者の利便性の向上
	5-6	地域資料の活用の推進
	5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施
	5-8	町田の文学の継承
	5-9	文学財産の保存

■取組1-1 保護者向けの学習機会の充実【◇】	生涯学習センター
-------------------------	----------

事業概要	保護者を対象に、子どもの年齢や成長に応じて生じる悩みや問題の解消につなげる学習機会を提供します。実施にあたっては、保護者をはじめ学校、PTAなど幅広くニーズを調査し、事業内容に反映していきます。				
これまでの取組	0歳児・1歳児とその保護者、妊婦を対象とした「まなびのひろば事業」、乳幼児期から思春期までの保護者向けの学習講座を定期的の実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①まなびのひろば*延べ参加者数	698人	880人		
	②家庭教育講座延べ参加者数	459人	570人		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	保護者の学習機会の把握		アンケート等によるニーズ調査・事業内容への反映		
	各種学習事業の実施				
年度目標（指標①）	730人	760人	800人	840人	880人
年度目標（指標②）	480人	500人	520人	540人	570人

*まなびのひろば：生涯学習センターで実施する市内在住の0歳児・1歳児とその保護者、または妊婦を対象とした子育てに関するひろば事業。手遊びやスキンシップ遊び、絵本の読み聞かせ、保護者同士の情報交換などを行う。

＜2020年度の事業実績＞

達成状況（指標①）	F 評価することが難しい
取組状況（指標①）	・新型コロナの影響により、まなびのひろばは8月まで中止し、再開後も参加人数の制限をしたため、計画に対する達成状況を評価することが難しいと判断しました。 ・まなびのひろばとして、きしゃポッポ（21回）、パパきしゃ（7回）を実施し、参加者は延べ123人でした。また、8月に2回、オンライン上できしゃポッポを実施し、計2人の参加がありました。
達成状況（指標②）	F 評価することが難しい
取組状況（指標②）	・新型コロナの影響により、家庭教育講座は9月まで中止し、再開後も参加人数の制限をしたため、計画に対する達成状況を評価することが難しいと判断しました。 ・乳幼児の保護者向け（8回）、0歳から10歳の子の保護者向け（2回）、小学生の保護者向け（4回）、思春期の保護者向け（5回）の講座を実施し、参加者は延べ249人でした。 ・各講座でアンケートを実施し、講座内容などへの保護者のニーズを調査しました。
課題	・コロナ禍においても安心して参加いただくことと、多くの方に参加いただくことのバランスをとることが必要となっています。 ・市民生活の変化が起きているため、引続き、市民の意見を聴収し、事業内容を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	・コロナ禍においても安心して参加いただくために、こまめな消毒などの感染防止対策を行ったうえで事業を実施します。また、感染状況の変化に応じて、できるだけ多くの方が参加できるよう対策や人数制限等を見直していきます。 ・コロナ禍において外出等が減っているため、ひろばや講座は保護者同士が交流できる数少ない機会であることが伺えます。引続き、受講生同士の話し合いや交流の時間を設けた、ひろばや講座を実施していきます。 ・小学校等に配布する講座のチラシにアンケートフォームのQRコードを記載し、より広く保護者のニーズを調査します。講座時のアンケートも引続き実施します。

■取組1-2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援【◇】	生涯学習センター
-----------------------------	----------

事業概要	まなびのひろば事業や子育て講座などの学習機会を地域で展開できるよう、担い手を育成します。実施にあたっては、関係機関と連携しながら、ニーズの把握、育成プログラムや修了後の活動拠点などの検討を進め、家庭教育支援の充実を図ります。				
これまでの取組	家庭教育支援の担い手を育成する事業として「家庭教育支援学級」を実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①担い手育成事業修了者数（累計）	31人	164人		
	②修了者が企画した学習事業数	3事業	5事業		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	育成プログラム及び活動支援手法の研究		担い手育成事業の実施 修了者の活動支援の実施		
	修了者が企画した学習事業（3事業）実施		修了者が企画した学習事業（4事業）実施	修了者が企画した学習事業（5事業）実施	
年度目標（指標①）	31人	62人	95人	129人	164人
年度目標（指標②）	3事業	3事業	4事業	4事業	5事業

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	- 乳幼児及び幼児の保護者の各学習講座修了生で構成する学習会を11回、学級形式の家庭教育担い手育成事業を22回実施しました。修了者は27人で累計で74人となりました。 - 子育て推進課と連携事業を実施し、情報交換を行いました。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	- 本事業で学習したサークルによる、「子育てフリースペース」を生涯学習センター保育室を利用して運営しました。 - 東京都公民館連絡協議会保育部会に参加し、次年度の事業に反映できるよう他市の実践を学びました。
課題	育児休業中の母親が受講する例が増えており、講座修了後、多くの受講生が職場復帰、再就職するなどライフスタイルが変化するため、活動の継続が難しい状況です。本事業、講座を卒業したグループが地域で活躍できる支援策について研究、検討する必要があります。
今後の取組の方向性	- コロナ禍においても安心して参加いただくために、こまめな消毒などの感染防止対策を行ったうえで事業を実施します。 - 修了生が地域での活動を継続して行えるよう、一定期間、保育室を提供するなどの活動支援を行います。 - 東京都公民館連絡協議会保育研修会を通して、コロナ禍での事業展開方法など、他市との情報交換を行います。

■取組1-3 保育室を利用した家庭教育支援事業の促進	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	子育て中の市民が親子向けイベントや講座により多くの参加機会を得られるよう、また自ら活動することができるよう、市民活動団体や市の各部署に働きかけを行い、生涯学習センターの保育室を活動の場とした家庭教育支援事業の促進を図ります。				
これまでの取組	保育室は、生涯学習センターが直接事業に使用するほか、ホールや学習室等で市民の学習活動がある際に補助的に利用されています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
	保育室の年間施設利用回数		280回		380回
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	情報収集 周知方法の 検討	検証	検証結果に基づく周知活動の見直し		
	市民活動団体への周知・市の各部署との調整				
年度目標	290回	300回	320回	350回	380回

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・保育室を活動の場とした家庭教育支援事業について、まちだ子育てサイトやツイッターによる情報発信を行いました。 ・ホールや学習室等で市民の学習活動がある際の補助的な保育室の利用や、生涯学習センター主催事業による利用のほかに、地域子育て相談センターや子ども発達支援課の事業による利用や、修了者サークルの活動の場として提供しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の休館や利用時間の短縮を行い、また、飲食の制限等一部利用内容を制限した結果、保育室の年間施設利用回数は151回に留まりました（2019年度比61%）。利用人数についても1,382人で2019年度比42%に留まりました。
課題	・保育室を活動の場とした家庭教育支援事業の促進に向け、さまざまな媒体を活用して、更なる周知活動を進める必要があります。 ・主催事業のほかに保育室の利用の増加につながる支援の方策の検討が必要です。
今後の取組の方向性	・子育て中の保護者の目により届くよう、紙媒体・電子媒体を併用してこまめな情報発信を行います。 ・生涯学習センターの主催事業のほか、修了者団体など市民活動団体の活動の場としての利用や、市の各部署が実施する事業での利用につながるよう、連携を図ります。 ・新しい生活様式に沿った運用を検討します。

■取組1-4 親子でことばに触れる機会の充実	文学館
------------------------	-----

事業概要	子どもたちの感受性を育むことができるよう、わらべ唄遊びや絵本の読み聞かせ、ことば遊びなどを通して、コミュニケーションの基本・文学への入り口となる「ことば」に触れる機会を提供します。保護者にもその楽しさを体験してもらうことで、家庭での教育や親子のコミュニケーションに活かせる内容となるよう実施します。実施にあたっては、参加者のニーズを把握し、事業内容に反映していきます。				
これまでの取組	0～4歳児とその保護者を対象にわらべ唄や絵本の読み聞かせを行う「ちちんぷいぷい」、「2歳児あつまれ!」、「3・4歳児あつまれ!」を実施しています。また、3歳から小学生の子どもとその保護者を対象に、リトミックとことば遊びを取り入れた「クリスマスおたのしみ会」を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	乳幼児から小学生とその保護者を対象とした事業数		7事業	9事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	アンケート等による ニーズの把握		ニーズの事業への反映		
	各種学習事業 （7事業）実施		各種学習事業 （8事業）実施		各種学習事業 （9事業）実施
年度目標	7事業	7事業	8事業	8事業	9事業

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまで実施していた乳幼児から小学生対象事業をすべて中止しました。 ・ポストコロナを見据え、コロナ禍でも実施できる企画や実施方法の検討を行いました。 ・コロナが沈静化したタイミングを狙って、コロナ禍でも実施できる企画として「親子で楽しむ俳句でハイク」と「おうち時間をもっと楽しく！絵本読み聞かせのコツ教えます！」を試行的に開催しました。
課題	・密閉・密集・密接を避けるため、屋外での事業や室内での事業の参加定員を従来に比べ減らすこと、YouTube、クロームブックなどのデジタルデバイスを利用した事業を検討するなど、コロナ禍を想定した新しい生活様式に適した実施方法を模索していく必要があります。 ・事業の目的や対象をより明確化し、効果的な事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	・定員を減らすなど新しい生活様式に即した形で、おはなし会等を再開します。 ・アンケート等により利用者のニーズを把握し、事業の目的や対象をより明確化した効果的な事業を企画します。

■取組2-1 学習情報の発信力の強化【◇】	生涯学習センター
-----------------------	----------

事業概要	学習情報をより多くの市民に提供できるよう、町田市ホームページモバイル（スマートフォン版）の学習情報誌「生涯学習NAVI」の利用促進を図ります。さらに、他団体で発信している情報誌やホームページなどの情報発信媒体との連携を図り、情報発信力を強化します。				
これまでの取組	ホームページや「生涯学習NAVI」の内容を見直しました。また、学習情報に関するポータルサイトの構築に向けて検討しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組の実施		未実施	実施（2020年度）	
	②新たな情報発信媒体の活用		未実施	活用（2021年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	利用促進に向けた手法の検討	スマートフォン版「生涯学習NAVI」利用促進に向けた取組の実施・検証			
	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	新たな媒体の活用・検証		
年度目標（指標①）	検討	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
年度目標（指標②）	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	活用・検証	活用・検証	活用・検証

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	・①さがまちコンソーシアムが発行する情報誌及びホームページへの記事掲載②二次元バーコードを記載したPRカードの配布③利用促進ポスターの掲示及びPOPの設置④Twitterを活用したPR⑤教育広報紙「まちだの教育」への記事掲載⑥町田市立図書館ホームページへのバナーリンク設置⑦株式会社東日本タクシー車内広告への記事掲載の7件の取組を実施しました。また、QRコードを記載したPRカードの配布について、配布場所と配布枚数の見直しを行いました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	・地域の民間が発信している地域情報を集めたホームページ上に、生涯学習センターの「オンライン学習」を掲載しました。地域情報アプリの町田版には、市民大学講座や家庭教育支援事業などを掲載したことにより、多くの若い世代に周知できました。地域紙やケーブルテレビに平和祈念事業やコンサート事業、まちチャレ講座を取り上げてもらい、広く周知しました。
課題	・新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの情報提供のニーズが高まっています。 ・生涯学習センターの周知に向け、機会をとらえ、より多くの他団体と連携する必要があります。
今後の取組の方向性	・引き続き、スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組を進めるとともに、検証を行います。 ・生涯学習センターが10周年となることをPRし、より多くの方に周知することを目指します。 ・新型コロナワクチンの予防接種のために来館する方々に向けて、認知度を高めることを目指します。

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】	文化財係・自由民権資料館・文学館
--------------------------------	------------------

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	- 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 - 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

<2020年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した				
取組状況	下記の出張事業を実施しました。※【 】内は実施場所 ※実施件数：計22件 参加者数：計12,102人 ・考古資料の「貸出展示」 【商業施設（ぽっぽ町田）、高齢者施設（ふれあい桜館）】 2件 ・地域の歴史をその地域に出向いて解説する「出前講座」 【市民センター】 4件 ・地域の史跡などを歩いてめぐる「フィールドワーク」 【森野地区、原町田地区】 2件 ※企画3件のうち1件は雨天中止。 ・地域の遺跡や歴史に関する「出張講座（講師派遣）」【中学校、生涯学習センター等】 13件 ・ショートショート作家を講師とした「ショートショートの書き方講座」 【町田市立真光寺中学校3年生】 1件 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止…3件（考古資料の展示【市役所イベントスタジオ】、歴史資料の展示【市役所イベントスタジオ】、社会人せんせい講座【成瀬台中学校】）				
課題	・貸出展示や出張講座で資料を持ち込む際には、資料の破損・盗難を防ぐための工夫が必要です。 ・博物館から移管された民俗資料を活用した学習事業を地域で展開する必要があります。 ・YouTubeやChromebook等デジタルデバイスを利用し、学校の授業等で活用できるコンテンツの提供が必要です。				
今後の取組の方向性	・展示ケースの設置、施錠できる展示場所を確保するなど資料の破損・盗難防止に留意しながら、より集客効果が高い施設において貸出展示、出張講義を実施できるよう進めていきます。 ・引き続き、市内各地域の歴史を出張して紹介することで、歴史に身近に触れることのできる機会を作ります。 ・民俗資料を活用した体験講座や出張授業に取り組みます。 ・2021年度から実施する「ことばらんどショートショートコンクール」と連動した試みとして、YouTube、Chromebookを利用し、学校の授業等で活用して貰うために「ショートショートの魅力」「ショートショートの書き方」の2本の動画を作成しました。この動画を町田市内の多くの学校で活用してもらえるよう働きかけを行います。 ・2020年度に続き、「ショートショートの書き方」講座を実施します。				

■取組2-3 子ども読書活動の推進【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	生涯にわたって主体的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、子ども読書活動の推進に関する全市的な取組をまとめた「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」を策定・推進します。特に、子どもの読書活動に合わせた図書資料の充実とともに、小学校英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書を重点的に整備します。				
これまでの取組	第三次町田市子ども読書活動推進計画（2015年度～2019年度）に基づき、庁内各部署で計32の取組を実施するとともに、計画の進捗管理を「子ども読書活動推進計画推進会議」を通じて行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定		第三次計画に基づく事業の実施	策定完了（2019年度）	
	②外国語の絵本・児童書の蔵書数		3,966冊	6,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	第四次計画の策定	第四次計画に基づく事業の推進 推進会議を通じた事業の進捗確認の実施			
	外国語の絵本・児童書の計画的購入・活用 利用状況等の検証				利用状況等の検証
年度目標（指標①）	第四次計画の策定完了	事業の推進 進捗確認	事業の推進 進捗確認	事業の推進 進捗確認	事業の推進 進捗確認
年度目標（指標②）	4,500冊	5,000冊	5,500冊	6,000冊	6,500冊

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	・2019年度に策定した「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の事業を推進するため、2020年度は9月に対面形式、2～3月に書面形式で計2回の町田市子ども読書活動推進計画推進会議を開催し、各部門における事業の進捗や新型コロナウイルス感染症への対応について、意見交換しました。 ・町田市子ども読書活動推進計画推進会議において、より活発な意見交換ができるよう、委員から会議運営についての意見を募りました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	・外国語の絵本・児童書については、「英語多読コーナー」を設置している中央・鶴川駅前・忠生を中心に約800冊購入し、蔵書数は約5,800冊になりました。 ・外国語の絵本・児童書を活用するため、2020年度中に英語多読講演会を2回実施しました。
課題	・町田市子ども読書活動推進計画推進会議について、委員間でより活発な意見交換ができるような会議運営に見直ししていく必要があります。 ・「英語多読コーナー」を全館に設置するために、まだコーナーを設置していない館の書棚の確保や資料の整備等課題の洗い出しをする必要があります。 ・英語多読の効果や継続性を高めるため、市民が主体となったサークルの結成を支援する必要があります。
今後の取組の方向性	・町田市子ども読書活動推進計画推進会議は、委員から募った意見をもとに今後の会議運営について見直しを行います。 ・引き続き、第四次計画の推進を図るとともに、推進会議を開催し、情報共有と意見交換をしていきます。 ・「英語多読コーナー」の全館設置を目指し、各館の書棚を確保すると共に外国語の絵本・児童書について計画的な購入を継続します。 ・英語多読を定着させるために市民による多読サークルの結成を支援します。

■取組2-4 学校図書館との連携強化【◇】	図書館
-----------------------	-----

事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ本を車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①学校図書館支援貸出利用校数	35校	42校		
	②学校図書館支援貸出数	3,768冊	4,500冊		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	▶ 学校図書館支援貸出の実施				
	▶ 新たな支援 内容の検討	▶ 貸出方法等の改善 新たな支援の実施			▶ 支援内容 の検証
年度目標 (指標①)	35校	37校	39校	40校	42校
年度目標 (指標②)	3,800冊	4,080冊	4,220冊	4,360冊	4,500冊

<2020年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	D 目標に達しなかった
取組状況 (指標①)	・学校図書館支援貸出は、22校に実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館・休校もあり、目標を下回りました。 ・校長会や、教員・図書指導員の研修会等の機会を捉えて、学校図書館支援貸出の利用案内、移動図書館訪問サービス、団体貸出資料の配本サービスの紹介等を行いました。 ・研修会では、図書指導員等から受講希望のあった「図書の修理方法」について、図書館員が講義・実演を行いました。 ・2021年度に向け、学校図書館支援貸出制度をより利用してもらえるよう、登録・更新手続きの簡素化を図りました。
達成状況 (指標②)	D 目標に達しなかった
取組状況 (指標②)	・学校図書館支援貸出冊数は、2,691冊でした。 ・学校図書館支援貸出制度について、貸出のスピードアップを図ることができる「テーマ別貸出セット」の準備・資料構成を計画し、購入を開始しました。
課題	・学校・学校図書館とのコミュニケーションを深め、更なるニーズ把握に努める必要があります。
今後の取組の 方向性	・学校図書館について、調査やヒアリング等を行い、その結果をサービスの改善に生かします。 ・学校図書館支援貸出、研修会協力、移動図書館訪問サービス、団体貸出資料の配本サービス等を引き続き行い、学校・学校図書館への支援と連携に努めます。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・ 生涯学習センター・ 図書館・文学館
--------------------	---------------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。			
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。			
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数	4件	10件	
	②SNS発信数	219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	新たな連携 先の検討・ 調整	新たな連携 先とのPR 活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の 見直しと実施
	SNSを利用した情報発信			
年度目標 (指標①)	5件	6件	7件	8件
年度目標 (指標②)	520回	610回	670回	720回

<2020年度の事業実績>

実績値 (指標①)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標①)	・自由民権資料館では①企画展「能ヶ谷のかたち」の香山園との連携実施②鶴川駅前図書館での特集コーナー設置の2件の連携PRを実施しました。 ・生涯学習センターでは①考古資料室と連携して作成した動画のホームページ掲載②図書館でのの特集コーナー設置③玉川学園地区社会福祉協議会からの講師招聘と同会広報紙での講座PR⑤地域情報を集めた民間ホームページや民間地域情報アプリの町田版への講座情報掲載など6件の連携PRを実施しました。 ・図書館では、①移動図書館そよかぜ号とスケルトンごみ収集車「みえるくん」の合同巡回の実施②イベント「Made in Serigaya 公園活用実験」（芹ヶ谷公園）やイベント「シバヒロ読書ピクニック」（町田シバヒロへ）への移動図書館そよかぜ号派遣など4件の連携PRを実施しました。 ・文学館では、①文化プログラム「おうちで文プロ！」への町田市立博物館、国際版画美術館等との共同参加②芹ヶ谷公園への「ポケふた」設置に合わせた「ポケふた」設置記念ミニ展示の実施③エフエムさがみ「まちだ文学の道」への出演など4件の連携PRを行いました。
実績値 (指標②)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標②)	・開館情報や講座・講演会、展覧会等のイベント情報、新型コロナウィルスに関する情報など、Twitterによる情報発信を自由民権資料館では284回、生涯学習センターでは151回、図書館では95回、文学館では760回の合計1290回行いました。
課題	・より多くのフォロワー及び「いいね」やリツイートで表現される反応を獲得できるよう、効果的なツイートの発信内容を検討する必要があります。 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、多くのイベントが中止となり、魅力的な情報を発信することが難しくなっています。
今後の取組の 方向性	・町田デジタルミュージアムと連携し、発信力を強化します。 ・生涯学習施設や各機関と連携して、講座の特徴を生かしたPR活動を行います。 ・効果的なツイートについて研究を進めながら、継続的な情報発信を行います。 ・ホームページ、Twitterでの情報発信に加え、10代・20代を中心にアクティブユーザーの多いインスタグラムの導入を検討します。

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及により、読書量が減っていると言われてい ます。小学生以下の子どもの読書のきっかけとなる事業や、中高生を対象とした図 書館に足を運ぶきっかけとなるイベントを行うなど、18歳以下へ向けた取組を強化 します。				
これまでの取組	小学1年生を対象に「としょかんいちねんせい*」を実施しました。小学校高学年、 中学生、高校生を対象にPOP（本の紹介カード）を応募する「まちだライブ・ラ リー」を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	18歳以下の方の利用登録 につながる事業数		2事業	4事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の 実施・ 検討	3事業実施		4事業実施	
			事業内容 の検証		事業内容 の検証
年度目標	2事業	3事業	3事業	4事業	4事業

*としょかんいちねんせい：公立小学校の新1年生に引換券（兼・利用登録用紙）を配布し、図書館・文学館に引換券を持参した児童にカードケースを贈る事業。

<2020年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	・以下の5事業を実施しました。 ・「としょかん1ねんせい」事業では、図書館に登録・更新した336人へ小学校入学お祝いミニプレゼントを渡しました。 ・小学校4～6年生、中学生、高校生を対象に「ひとことPOPコンテスト」を実施し、413作品の応募がありました。 ・子どもが本に親しむための取り組みのひとつとして、5、6歳から小学校低学年を対象とした「読書手帳」を配布しました。 ・2019年度に中止した「まちだクエスト*」を回遊型謎解きゲームの形式で実施し、45人の参加がありました。 ・2019年7月13日～9月1日まで試行した、中央図書館の集会室を中高生のグループ学習用スペースとして活用する取組について、2020年10月から土・日・祝日に実施しました。中高生の利用を促進するため、愛称を「わいわいキャレル」と称し、広報や市ホームページへの掲載や館内掲示を行いました。利用グループ数は53日間で81組で、前年度の18日間15組から大幅に利用率が増加しました。
課題	・中高生を対象にしたイベントを複数実施しましたが、利用登録の増加には直接繋がっていません。 ・さらなる中高生のニーズの把握や、効果的なPR方法の検討が必要です。
今後の取組の方向性	・これまで実施してきた事業を継続すると共にPOPコンテスト等の企画をブラッシュアップして実施し、18歳以下の方の利用登録に繋がるよう努めます。 ・図書館利用の少ない中高生のニーズを把握するため、「町田創造プロジェクト（MSP）」メンバーや子どもセンターつるっこの運営委員との意見交換を行う機会をつくり、中高生が図書館事業に参加できる仕組みについて検討します。

*まちだクエスト：謎解きゲームを通じ図書館内を巡ることで、図書館の基本的な構造や、本を借りるだけではない図書館の便利な使い方を体感してもらう中高生向けのイベント。

■取組2-7 シニア世代向け事業の充実	図書館
---------------------	-----

事業概要	いつでもだれでも気軽に利用できるという図書館の強みを活かし、地域の図書館で認知症予防の講座を市民と協働して実施するなど、シニア世代が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしていくための取組を行います。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	シニア世代を対象とした事業数		未実施	2事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施検討	1事業実施		2事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	実施検討	1事業	1事業	2事業	2事業

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	以下の2事業を実施しました。 ・ことぶき大学まちだ探探ゼミナールにおいて、「図書館を活用した調べ学習」と題した講座を、中央図書館にて実施しました。（生涯学習センターとの共催） ・中央図書館、さるびあ図書館、堺図書館及び移動図書館にて、認知症関連図書の特集展示や関連パンフレットの配布等を行いました。
課題	・新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない中、ICTの活用等、新しい生活様式に対応したシニア世代向け事業も検討する必要があります。 ・ICT機器等の利用に不慣れな利用者への対応も求められます。
今後の取組の方向性	・シニア向けテーマの特集展示について、ホームページでも資料を紹介して更なる利用の促進を図ったり、他の地域図書館でも展開できるように調整していきます。 ・引き続き、シニア世代が地域でいきいきと健康に暮らしていくために役立つ事業を検討、実施します。

■取組2-8 障がい者サービスの充実	図書館
--------------------	-----

事業概要	通常の活字による読書が困難な人の学びのきっかけとなるよう、マルチメディアDAISY（デージー）*の貸出を拡充するなど、より対象者を広げた障がい者サービスを行います。				
これまでの取組	視覚障がいなどで活字を読むことが困難な人、寝たきりなどで図書館への来館が困難な人へのサービスを行っています。さらに、視野狭窄などにより読書が困難な人を対象に、リーディングトラッカー（読書補助具）の貸出を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	通常の活字による読書が困難な人を対象とした事業数		1事業	3事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の実施・検討	2事業実施		3事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業

*マルチメディアDAISY（デージー）：音声と一緒に、文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	・マルチメディアDAISYについて、上映会と会場でのミニ展示でPRを行った。若手教員育成研修で学校支援貸出で利用できることの紹介を行いました。 ・2021年3月にボランティア養成講座「はじめてのテキストDAISY」を開催し、テキストDAISY製作の初歩を学ぶ機会を設けました。 ・リーディングトラッカーの貸出を含め、実施した事業の合計は3事業となりました。 ・新型コロナウイルス感染症が収まらない中、既存サービスの対面朗読は、感染症対策を取るため日程や場所の調整を行いながら実施し、宅配サービスも一部郵送対応、音訳・点訳サービスも、ボランティアの協力のもと実施しました。また、経年劣化の見られるカセットテープの蔵書の中から数点、音声DAISYへの移し替えを行いました。
課題	・マルチメディアDAISYをはじめ、障がい者サービスの利用促進に向けて、更なる取り組みを進める必要があります。 ・コロナ禍において、感染症対策を取りながら細やかな対応をする必要があります。
今後の取組の方向性	・2020年度に検討した、マルチメディアDAISY等の利用促進のPRを実施します。特集コーナー展示、YAコーナー展示、児童コーナーへのポスター掲示等を通じて障がい者サービスをPRし、新規利用を促進します。

■取組2-9 図書館資料による情報提供機会の充実	図書館
--------------------------	-----

事業概要	町田市の施策や町田市の魅力をより多くの市民にPRするために、図書資料の展示方法やPRを改善しながら、「本の特集コーナー」による情報提供機会の充実を図ります。				
これまでの取組	2015年度から町田市の施策をPRするための「本の特集コーナー」を市の各部署と連携して行っています。市の施策を市民に役立ててもらうとともに、図書館利用者を増やす取り組みのひとつとなっています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」の実施数		19回	33回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	改善点の洗い出し	改善案の実施	改善点の洗い出し	改善案の実施	改善点の洗い出し
年度目標	19回	26回	26回	33回	33回

<2020年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	・他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」を34回実施しました（中央図書館16回、さるびあ図書館1回、金森図書館1回、堺図書館3回、鶴川駅前図書館13回）。 ・高齢者福祉課と連携した「D-o-o-k-s」特集について、中央図書館だけではなく移動図書館でも同時期に同様の特集を展開することで、更なる相乗効果を図りました。 ・「本の特集コーナー」を連携して実施した部署に、アンケートを行いました。 ・2019年度のアンケート結果を踏まえ、他部署へ反響の大きかった特集やレイアウトの工夫をしている事例などを紹介しました。 ・各部署からの希望時期が重複し中央図書館での実施が出来なかった場合は、地域館で展開できるよう調整を行いました。
課題	・2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他部署と連携したイベントの開催などの開催が困難でしたが、引き続き更なる相乗効果を生み出すような連携を模索する必要があります。 ・オリンピックやまちだOごと大作戦、選挙など、市全体で行う取り組みについては、複数の図書館で連動した特集の実施を検討する必要があります。 ・「町田市立図書館の図書館外部評価」で外部評価者からいただいた2019年度事業の評価結果を踏まえ、コラボ特集コーナーで紹介した図書をリスト化しウェブで公開することを検討する必要があります。
今後の取組の方向性	・更なる相乗効果を生み出すような連携を引き続き検討します。 ・複数の図書館で連動した特集の実施について、引き続き検討し実施します。 ・コラボ特集コーナーで紹介した図書をリスト化しウェブで公開します。

■取組2-10 「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実	文学館
---------------------------	-----

事業概要	中学生を対象に町田ゆかりの作家*を紹介し、町田市への愛着をさらに持ってもらうきっかけとなるよう、パンフレット「町田の文学ガイド」を作成します。				
これまでの取組	大人向けの資料として、展覧会で紹介した町田ゆかりの作家を図録にまとめています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	「町田の文学ガイド」作成		未実施	作成・配布	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	他市事例等の調査	ゆかり作家情報の整理・調査	企画立案・編集方針の決定	原稿作成 校正作業	印刷・完成 配布
年度目標	調査完了	調査完了	編集方針の決定	原稿完成	完成・配布

*町田ゆかりの作家：遠藤周作や森村誠一など、その生涯や作品が町田市と深く関わり、文学の分野で一定の社会的評価を受けている小説家、歌人、俳人、詩人、絵本作家、漫画家等。

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	町田ゆかりの作家約60名の情報の整理・調査を行いました。
課題	- 中学生が興味をもてるようなコンテンツの作成が必要です。 - 小中学校へのクロームブック導入に合わせ電子媒体の作成・提供が必要です。
今後の取組の方向性	整理した町田ゆかりの作家情報をホームページで公開するとともに、中学生が興味をもてるコンテンツを作成します。

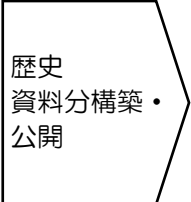
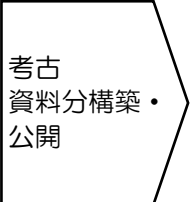
■取組3-1 地域の課題解決に向けた学習支援【◇】	生涯学習センター
---------------------------	----------

事業概要	地区協議会をはじめとした地域団体や関係機関と連携・協働しながら、住民自らが課題を見つけ出し、解決に向けて行動できるよう学習支援を進めていきます。				
これまでの取組	鶴川地区の交流促進や様々な困りごとの相談の場となっている鶴川地区協議会主催「3水スマイルラウンジ」にて「学びのひろば」を共催し、地域の歴史や文化を理解する講座などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
	連携事業を実施した地区協議会の数（累計）		1地区		5地区
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各地区協議会への働きかけ				
	地区協議会との連携事業の実施（1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施（1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施（2地区）
	2地区	検証	3地区	検証	5地区

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・鶴川地区協議会の催し「3水スマイルラウンジ」の一企画として、『まなびのひろば』として地域の自然、歴史、文化に関する講座を年6回開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年3回の実施となってしまいました。 ・南大谷玉川学園地区協議会と高ヶ坂・成瀬地区協議会と講座実施にむけて協議をしました。開催に向けての理解は得られましたが、コロナ感染が収束しないなかでの実施については慎重に検討したいということで、2020年度は実施することはできませんでした。
課題	・鶴川地区の取組は7年目となり、これまでの成果や新たな課題について、改めて協議会と協議する必要があります。現在、鶴川駅前ポプリホールを会場として実施していますが、地区からは三輪でも行いたいという要望が出ているので実現に向けて協議を進める必要があります。 ・未実施の地域については、地域と丁寧な協議を進め、事業展開をする必要があります。
今後の取組の方向性	・鶴川地区協議会との連携、協働を継続し、地域のニーズに合った学習機会を提供します。 ・これまで連携事業を実施していない地区協議会に働きかけ、連携、協働のもと事業の実施に向けて調整を進めます。

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】	文化財係・自由民権資料館
----------------------	--------------

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	町田デジタルミュージアム構築の進捗		未実施	システム構築完了、公開（2022年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	 歴史資料分構築・公開	 考古資料分構築・公開	 考古及び民俗資料分構築・公開	 公開	
	 歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	- 考古資料の抽出・撮影を完了し、デジタル化した資料の一部をホームページに公開しました。 - 撮影した資料について、目録情報の執筆を完了しました。
課題	2021年度の町田デジタルミュージアム構築完了に向けて、資料の説明を的確にわかりやすく編集する必要があります。 2021年3月に実施した中学校とのオンライン授業などを通じ、町田デジタルミュージアムの活用に向けた取組を試みています。このように、町田デジタルミュージアムをきっかけに、市民に歴史・考古・民俗資料を通じ郷土への理解が深まるような働きかけが必要です。
今後の取組の方向性	2021年度に町田デジタルミュージアムの構築を終了し、2022年度にホームページで全面公開を行います。 - 小中学校の授業で町田デジタルミュージアムを活用するなどデジタル環境での利用促進を図ります。また、掲載資料を常設展示、予約制の閲覧などで見学できる環境を整えます。

■取組3-3 「文学の扉」事業の推進【◇】	文学館
-----------------------	-----

事業概要	より多くの市民に文学やことばに親しんでもらえるよう、町田ゆかりの作家の紹介や文字・ことばの魅力を伝える展覧会を、ことばに関連する他ジャンルを幅広く取り込みながら、より柔軟で多様な内容により実施します。また、若年層を対象とした創作活動などの学習事業を充実します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家を紹介する展覧会を中心に年4回の企画展を実施しています。また、0歳児・1歳児対象のおはなし会「ちちんぷいぷい」や小学生対象の俳句実作講座「子ども俳句教室」、一般対象の文学やことばに関する講演会など、ライフステージに合わせた学習事業を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①展覧会を通じ、新たな興味や学習意欲につながった人の割合（観覧者アンケート）		84%	90%	
	②中高生から20歳代を対象とした事業数		1事業	3事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	展覧会の実施、内容の検証・改善				
	若年層対象事業の実施・検討	若年層対象事業（2事業）実施		若年層対象事業（3事業）実施	
年度目標（指標①）	86%	87%	88%	89%	90%
年度目標（指標②）	事業の検討	2事業	2事業	3事業	3事業

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	- 新型コロナウイルス感染症の影響で年度当初に計画していた展覧会を延期し、9月以降は収蔵資料を中心とした代替の展覧会を急遽実施しました。アンケートの回収率は例年より減少しましたが、展覧会を通じ、新たな興味や学習意欲につながった人の割合は86%でした。 - お客様が展覧会に足を運ばなくても展示の様子を知ることができるよう展覧会紹介動画を3本作成しYouTubeで公開しました。視聴回数は合計で6,289回でした。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	- 児童青少年課と共催し創作童話コンクールを実施しました。表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、1階の文学サロンに表彰者の氏名を発表する展示コーナーを設けました。 2021年度から実施する「ことばらんどショートショートコンクール」の検討を開始し、授業で活用できる動画コンテンツ「ショートショートの魅力」「ショートショートの書き方」を中学校の協力を得ながら作成しました。 20代をメインターゲットとした「本の改装ワークショップ」を開催しました。
課題	- 新型コロナウイルス感染症による不要不急の外出自粛要請の影響で文化施設への集客が難しくなっています。 - コロナ禍を想定した新たな手法でことばや文学に関する事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	- 新型コロナウイルス感染症の影響で失ったお客様を回復するとともに、若年層の観覧やイベント参加を促すために、お客様が主体的に展示やイベントを楽しめるようインタラクティブ（双方向）な事業を模索していきます。 - 夏休み期間に合わせて「ことばらんどショートショートコンクール2021」を実施します。

■取組3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進	文化財係
------------------------	------

事業概要	文化財を維持・保護し、下三輪玉田谷戸横穴墓群*、細野喜代四郎書斎*など、未整備、未公開の文化財の復旧・修復を推進します。				
これまでの取組	横穴墓、古民家など市内の指定文化財を復旧し、整備を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備		現況測量完了	整備完了・公開	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	整備 事前準備	保存管理計画策定 遺構再確認 調査、保存 処理調査	実施設計	整備工事	公開
年度目標	史跡整備事前準備完了	保存管理計画策定開始 遺構再確認調査 保存処理調査	保存管理計画策定完了 実施設計	整備工事	整備完了・公開

* 下三輪玉田谷戸横穴墓群：古墳時代後期（7世紀ごろ）の地域の有力者の墓。崖面に横穴を掘り遺体を安置した。都内で唯一、墓の内部に家形の彫刻が施されている。

* 細野喜代四郎書斎：町田を代表する自由民権運動家・細野喜代四郎が書斎として愛用した土蔵。解体され、現在部材の状態で保管されている。

<2020年度の事業実績>

達成状況	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況	- 定期的な点検、清掃を行いました。 - デジタルミュージアムのための撮影を実施し、2021年3月から公開しています。
課題	横穴墓内の天井や壁の崩落は進行しており、状況観察を継続的に行う必要があります。
今後の取組の方向性	保存管理計画策定に向けて劣化を最小限に抑えるため、必要に応じて応急的な保存措置を講じます。

■取組3-5 文化財の公開・活用の充実	文化財係
---------------------	------

事業概要	文化財を積極的に公開・活用し、市民が文化財に触れ合える機会をより多く提供します。				
これまでの取組	市内の指定文化財の公開・活用イベントを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	文化財の公開・活用イベント件数		4件	6件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	イベント4件実施			イベント5件実施	イベント6件実施
	イベント内容検証		イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討
	4件	4件	4件	5件	6件

<2020年度の事業実績>

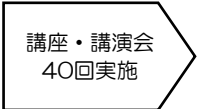
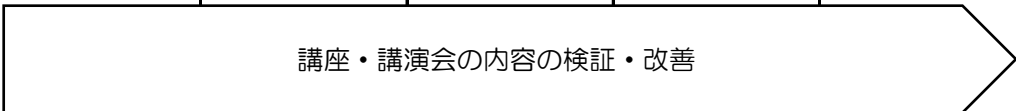
達成状況	B 目標を達成した
取組状況	・下記5件のイベントにおいて、文化財を公開・活用しました。 ①生涯学習センターオンライン学習「町田の考古資料室って知っている?！」 ②まちだ市民大学HATS町田の歴史講座「目で確かめる町田の歴史 田端環状積石遺構ほか」 ③本町田遺跡公園見学会 ④東京文化財ウィーク2020企画事業「異形台付土器 特別公開」 ⑤オンライン授業「ICTを活用して町田の歴史を知ろう！」
課題	・文化財を公開・活用するには、破損が生じないよう対策が必要です。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の方策をとりながら事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	・文化財の破損防止、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにもデジタル技術を活用した効果的な公開・活用のあり方を検討、実施していきます。

事業概要	自由民権運動と町田の歴史情報をさらに発信できるよう、これまで収集・整理した地域の歴史資料を基にした企画展や、収蔵資料に加え関連資料を市内外の施設や個人から借用し展示する特別展を実施します。				
これまでの取組	企画展・特別展を年3回実施しています。 また、来館者アンケートにより展示等、資料館の満足度について調査を実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	資料館への満足度 （来館者アンケート）	77%	85%		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	企画展・特別展 2回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施
	展示・展覧会の内容の検証・改善				
	来館者アンケートによる調査・検証・改善				
年度目標	80%	82%	83%	84%	85%

＜2020年度の事業実績＞

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により特別展の内容を変更し、館収蔵史料を展示した「能ヶ谷のかたち」と、「町田の民権家たち」の企画展を計2回実施しました。 ・来館者に対しアンケートを実施しました。常設展・企画展それぞれに関して、「興味深かった」または「興味を持てた」と回答した方の割合は81%でした。
課題	・新型コロナウイルス感染症の影響により、他機関からの史料借用に制限があるため、新たな生活様式を考慮しながら、展示内容を検討していく必要があります。 ・来館者の満足度を上げることができるよう、アンケートの結果を分析するとともに、開催する展示の内容に合わせて、アンケートの内容を見直す必要があります。
今後の取組の方向性	・収蔵史料を町田デジタルミュージアムで公開します。また展示史料をSNSやホームページで公開するなど、新型コロナウイルス感染症対策にあわせた史料の公開方法を検討します。 ・市民のニーズに応えられるよう、開催する展示に合わせたアンケートを実施します。

■取組3-7 講座・講演会事業の充実	自由民権資料館
--------------------	---------

事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	講座・講演会等の実施回数			60回	70回
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
					
年度目標	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回	70回

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	新型コロナウイルス感染症対策のため、町田自由民権カレッジ・古文書講座・夏季特別講座・特別展記念講演会を中止しました。代替として出前講座4回、動画配信4件の計8回を行いましたが発信する回数としては大幅に減少しました。
課題	新型コロナウイルス感染症が終息するまで、自由民権資料館の閲覧室を使用した座学の講座開催は難しいと判断されるため、代替の発信による生涯学習機会の提供方法を構築する必要があります。
今後の取組の方向性	市内施設を会場にした出前講座を継続して実施します。また、オンラインでの講座の実施を検討します。

■取組3-8 レファレンスサービスの充実	図書館
----------------------	-----

事業概要	市民の調査・研究を援助するレファレンスは、市民一人一人の学びを深めることができる重要なサービスです。求める資料を見つけることができるように、レファレンスサービスの充実に向けて技術の向上を図ります。さらに、レファレンス事例の公開や、インターネット情報にアクセスできる環境を整備します。				
これまでの取組	レファレンス事例をデータ化し、インターネットで公開しました。基本的な資料を案内する「パスファインダー」を作成しました。調べ物に役立つ情報をまとめた「レファレンス通信」を発行しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	レファレンス事例の公開件数		162件	250件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	レファレンス事例の公開				
	レファレンス事例の点検と今後の改善方法の検討		レファレンス技術の向上のための改善プラン実施		事例の公開の振り返り
年度目標	190件	205件	220件	235件	250件

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	- レファレンス事例をインターネットで28件公開し、公開件数は延べ234件になりました。 - 国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を19件公開しました。 - レファレンス事例や資料を紹介する「レファレンス通信」を1回発行しました。 - 所蔵資料の中から調べ物に役立つ基本的な資料をテーマ別に案内する「パスファインダー」については、町田に関する資料1点の改訂作業中です。
課題	- レファレンス事例については、利用者の調べ物に役立つよう、引き続き幅広い分野について公開していく必要があります。特に町田の地域資料に関する事例の充実が必要です。 - これまでレファレンス機能を知らなかった利用者や、利用していなかった市民にも活用してもらうため、レファレンスサービスについて、広く周知する必要があります。 「パスファインダー」については、最新の情報を提供するために定期的に改訂する必要があります。 - レファレンスサービスの充実には、職員の技術力向上が欠かせず、人材育成が必要となります。
今後の取組の方向性	- 引き続き、町田の地域資料を中心とした幅広い分野について、新たなレファレンス事例を公開します。 「レファレンス通信」や「図書館だより」、イベント、講座等を通じて利用者への周知を行います。 「パスファインダー」については、引き続き町田に関する資料の改訂を行います。 - レファレンス技術向上のため、都立図書館等の研修に積極的に参加します。

■取組4-1 市民提案型事業の推進【◇】	生涯学習センター
-----------------------------	----------

事業概要	学習ニーズをより反映させた内容となるよう、市民団体の提案を基に地域課題の解決につながる学習講座を提案者とともに作り上げていく市民提案型事業「まちチャレ*」を拡充します。				
これまでの取組	地域で活動する学生団体が企画・運営する学生活動報告会*を開催するとともに、市民提案型事業「まちチャレ」を開始しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	市民提案型事業「まちチャレ」で実施する講座数		5講座	8講座	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5講座実施	6講座実施		7講座実施	8講座実施
	事業実施体制の整備				
年度目標	5講座	6講座	6講座	7講座	8講座

*まちチャレ：市民が日常生活の中の課題等を基に企画提案したものを、生涯学習センターとともに実施する学習講座。

*学生活動報告会：町田市や相模原市で活躍する学生団体が、ポスターブース等で活動内容を紹介するイベント。

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	・「子どもの発達障がい」、「障がい者・高齢者の外出支援」、「共生社会とパラスポーツ体験」など、さまざまな分野の6講座を実施し、2019年度よりも1講座増やしました。 ・支援が必要な人への学習機会の提供の場を増やすため、新たに多文化共生にテーマを限定した講座を1講座実施しました。 ・6講座中2講座については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインによる動画配信形式に変更して実施しました。 ・2021年度からの講座数増加に向け、事業及び事務分担の見直しなど、市民の学習ニーズに応えられるよう、事業実施体制の検討を行いました。
課題	・講座数の増加に向けて、講座開催時期ができるだけ重ならないよう、調整する必要があります。 ・生涯学習センター以外の会場で実施し、地域で開催する学びの場を増やしていく必要があります。
今後の取組の方向性	・2021年度の実施状況を検証し、更なる講座数の増加に向けて、継続して事務分担の見直しなど事業実施体制を整備します。

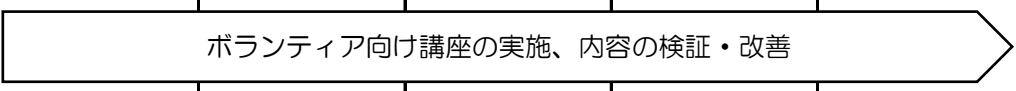
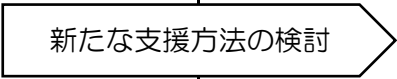
■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・文学館
-------------------------	-------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。			
これまでの取組	- 自由民権資料館では、古文書講座や自由民権カレッジなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 - 文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。			
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①研究成果物の刊行に向けた事業数	6事業	8事業	
	②研究発表会等の実施回数	未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	研究支援及び成果物の刊行			
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業
	8事業			
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施

＜2020年度の事業実績＞

実績値 (指標①)	C おおむね目標を達成した
取組状況 (指標①)	- 自由民権資料館において、史料集や目録の刊行に向けての解読作業4件、編集作業1件の5事業について、関係団体が定期的に研究会を開催し活動できるよう支援しました。 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、自由民権資料館で実施していた学生ボランティアは活動ができなかったため、年度目標には至りませんでした。
実績値 (指標②)	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況 (指標②)	自由民権資料館市民協働企画展にて、「鶴川青年団文書」及び「天野政立文書」解読作業の活動について発表予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度に開催を延期しました。
課題	- 市民が学んだ知識や経験を恒常的に継承されるような仕組みを構築する必要があります。 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、企画展や研究発表会については、手法の見直しが必要です。 - 若年層が参加しやすくするために、文学館市民研究員制度の仕組みについて検討を行う必要があります。
今後の取組の方向性	- 研究成果物の刊行に向け、引き続き関係団体の学習・研究活動を支援するとともに、収蔵史料の整理やテーマの選定をおこないます。 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、企画展や研究発表会については新たな手法を検討します。 - 大学のゼミと連携して研究テーマと一緒に取り組むなど、新たな研究員制度の検討を行います。

■取組4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】	図書館
-------------------------------	-----

事業概要	おはなし会などの本にかかわる活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①地域で活動するボランティア向け講座の開催回数	1回	3回		
	②地域で活動するボランティア向け講座への参加者数	26人	90人		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
					
	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標（指標①）	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標（指標②）	30人	30人	60人	60人	90人

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	- 読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座「実践編」を1回、図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修を3回、小学校保護者からの依頼で行った「絵本の読み聞かせ講座」を1回開催し、計5回開催しました。 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度当初予定していた「基礎編」「応用編」は中止とし、感染症対策を取りながら、少人数を対象として実施しました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座「実践編」に8人、図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修に23人、小学校保護者からの依頼で行った「絵本の読み聞かせ講座」に10人、計41人の参加がありました。
課題	小学校や学童保育での読み聞かせの需要は高まっていますが、感染症対策を取りながら講座を実施すると、多人数を対象とすることが難しいです。
今後の取組の方向性	- 感染症対策を取りながらできる、講座の実施方法を検討します。 - 実践編は比較的少人数の実施が向いているので、各地域図書館で行うことなどを検討します。 - 小中学校やその保護者から依頼があった場合は、会場を図書館とすることで、対応できるように検討します。

■取組4-4 学習成果の発表機会の支援	生涯学習センター
---------------------	----------

事業概要	生涯学習センターを拠点として活動している市民団体や、町田市及び近隣地域で活動する学生団体が、より多くの人に日頃の活動の成果を発表できる機会を提供します。				
これまでの取組	日頃の活動の成果を発表する「生涯学習センターまつり」、「学生活動報告会」を開催しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①生涯学習センターまつりへの参加団体数（来館者数）		53団体（2,167人）	58団体（2,500人）	
	②学生活動報告会への参加団体数		9団体	11団体	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	生涯学習センターまつりの実施（運営委員会による内容検討）				
	学生活動報告会の実施（参加学生団体への支援・内容検討）				
	新たな支援内容の検討	新たな支援に向けた調整	新たな支援の実施		検証
年度目標（指標①）	54団体（2,230人）	55団体（2,300人）	56団体（2,370人）	57団体（2,430人）	58団体（2,500人）
年度目標（指標②）	10団体	10団体	10団体	11団体	11団体

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	- 新型コロナウイルス感染症への対応として来場型ではなく、生涯学習センターまつりの趣旨である「全ての利用団体でつくり上げるみんなのまつり」と「生涯学習センターでのサークル活動を多くの方々に知っていただく発表の場」を継続していくことを念頭に、インターネット型で実施しました。 - 参加団体数は29団体、アクセス数は8,210回でした。
達成状況（指標②）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標②）	2019年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した学生活動報告会の延期開催として、2020年11月にオンライン配信ミニイベントを開催し、6団体が参加しました。また、2021年3月には定例開催としてオンライン配信イベントを開催し、高校生団体を含む8団体が参加しました。
課題	- 生涯学習センターまつりについては、より多くの市民団体の参加を促すような新たな取り組みや、来館者数を増やすための更なる周知活動を進める必要があります。 - 学年の切り替わりとともに、代表者やメンバーが交代する学生団体が多いため、各団体との切れ目のない繋がりづくりや支援を行っていく必要があります。新型コロナウイルス感染症の発生以降、学生同士の横のつながりづくりや、町田市や近隣地域で活動する高校生や卒業生との交流など、新たなニーズが寄せられています。
今後の取組の方向性	- 文学館まつり、ゆうゆう版画美術館まつり、時代まつりと連携して、生涯学習センターまつりのPRを行い、相乗効果により、来館者の増加を目指します。 - 引き続き、学生活動報告会の開催に向けて参加団体を増やす取組を進めるとともに、さがまちコンソーシアムや児童青少年課等と連携し学生や市民団体のニーズに沿った支援を行います。

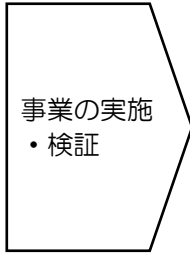
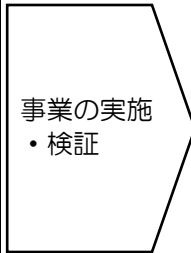
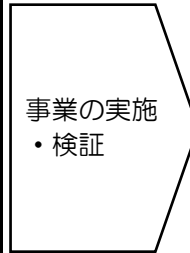
■取組4-5 生涯学習ボランティアバンク事業の推進	生涯学習センター
---------------------------	----------

事業概要	生涯学習ボランティアの知識や技能を広く市民の学習活動に活かすことができるよう、生涯学習ボランティアバンク事業の更なる周知に努め、利用件数の向上を図ります。				
これまでの取組	小学校PTA連絡協議会において、保護者向けに事業の周知を図りました。 また、事業の周知のため、生涯学習センターまつりにおいて一日体験講座を実施しました。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	生涯学習ボランティアバンクの利用件数			16件	30件
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たなPR 方法の検討	新たなPR 方法の実施	検証	検証結果に基づくPR方法の 見直しと実施	
	生涯学習ボランティアバンクー一日体験講座の実施				
年度目標	18件	22件	25件	28件	30件

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・制度を広く市民に周知するため、6月と12月に、広報まちだへの掲載や、町内会・自治会の代表者にPR用のチラシを送付しました。 ・保育園や幼稚園の利用が比較的多いため、市内の各保育園や幼稚園向けに、新たにメールによる情報発信を行い、事業をPRしました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、利用件数は3件でした。
課題	・利用者のイベント自粛や、登録講師の活動自粛など、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用件数が減少しています。
今後の取組の方向性	・広報まちだへの掲載やツイッターによる情報発信を継続的にを行います。 ・引き続き、市内の保育園や幼稚園向けにメールによる情報発信を行うとともに、効果を検証します。

■取組4-6 障がい者の学習成果を発表する場の充実	生涯学習センター
---------------------------	----------

事業概要	障がいのある人が、社会で生活しながら学び続けられるように、視覚や聴覚などの障がいに応じた学習要求の調査、研究を行い、学習プログラムを開発します。その上で、発表の場を設けることで障がい者の生涯学習を推進します。				
これまでの取組	主に知的障がいのある人を対象とした障がい者青年学級において、学級ごとに学習成果の発表の場を設けるなど、生涯学習の推進に取り組んでいます。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	障がいに応じた学習成果の発表の場			未実施	実施（2021年度）
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	調査・研究	学習プログラムの開発	実施・検証	実施・検証	実施・検証

<2020年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	障がい種別（視覚・聴覚・肢体）に応じた学習プログラムを当事者を交えて行いました。その結果、障がい種別に応じた講座を実施するためのプログラム案を開発しました。
課題	開発されたプログラム案が2021～2023年度に実施するために、新型コロナの感染状況や、情勢の変化などに適応していく必要があります。
今後の取組の方向性	開発されたプログラム案を元に、充実した講座となるよう関係機関との調整をしていきます。

■取組4-7 図書館運営の地域協働化の促進	図書館
-----------------------	-----

事業概要	市民の学習を支える図書館活動を市民参画・協働でこれまで以上に進めることができるよう、図書館で活躍するボランティアの活動分野を拡げていきます。				
これまでの取組	児童サービスの「おはなし会ボランティア」、障がい者サービスの「宅配ボランティア」・「音訳ボランティア」・「点訳ボランティア」・「対面朗読ボランティア」で市民ボランティアが活動しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	ボランティア活動分野の拡大		5分野	7分野	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5分野	6分野	6分野	7分野	7分野
	拡大に向けた検討				
	5分野	6分野	6分野	7分野	7分野

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	- 以下のとおり4分野でボランティアの活動がありました。 ①「宅配ボランティア」宅配件数：319件 ②「音訳ボランティア」音訳資料製作タイトル数：59点 ③「点訳ボランティア」点訳資料製作タイトル数：18点 ④「対面朗読ボランティア」対面朗読件数：159件 「おはなし会ボランティア」は2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会が実施できず、活動はありませんでした。 - 鶴ヶ島市やつくば市をはじめとした、イベント企画等の自主的な活動に基づく図書館のサービスと魅力を向上させるボランティア活動の可能性について研究しましたが、ボランティアの分野数を広げるまでには至りませんでした。
課題	- ボランティアに気軽に参加出来るメニューや仕組みを検討する必要があります。 - ボランティア活動を支援するうえで、「担当職員、コーディネーターの配置」「研修の機会」「ボランティア控室の整備」「事故補償」等のさまざまな配慮を行う必要があります。 - ボランティア活動費用をどのようにしていくか検討する必要があります。
今後の取組の方向性	- 既存のボランティアに活動分野の拡大について市民と意見交換すると共に、利用者の声や日々の窓口業務、各種アンケート等を活用して利用者のニーズの把握に努め、活動分野拡大の参考とします。 - ボランティア活動への準備を行ったうえで、新しい活動分野を開拓します。

■取組4-8 市民の文学活動への支援	文学館
--------------------	-----

事業概要	多くの市民が文学の楽しみを知り、市民同士の交流が広がるよう、市民の活動の自発性を尊重しながら、その学習成果や文学的知識、技能、表現力などを還元できる機会をつくります。				
これまでの取組	読み語り実行委員会との朗読会、紙芝居サークルとの紙芝居上演会、幼児向けおはなし会などを協働で実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	支援団体数			5団体	7団体
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	市民団体への支援				
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
年度目標	6団体	6団体	6団体	7団体	7団体

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・読み語り実行委員会との朗読会を、新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定した事業のほとんどを中止にしました。各団体と今後の事業の実施方法や時期について検討を行いました。
課題	・密閉・密集・密接を避けるため、屋外での実施や室内での参加定員を減らしての実施、YouTubeやデジタルデバイスを利用した成果発表の検討など、コロナ禍を想定した新しい生活様式に適した市民活動に対する支援のあり方を検討していくことが必要です。
今後の取組の方向性	・従来の支援方法の見直しを行いながら、来年度に向けて新たな事業を決定します。

■取組5-1 支援が必要な人への学習機会の提供【◇】	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①多文化共生*に関する学習事業数		1事業	3事業	
	②社会的困難を抱えた人への学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各種学習事業の実施 関係機関への働きかけ				
	参加者アンケート等によるニーズ調査・ 事業内容への反映			市民意識 調査での ニーズ 把握	新たな 事業の 実施
年度目標 (指標①)	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業
年度目標 (指標②)	3事業	4事業	4事業	5事業	5事業

*多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。

<2020年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標①)	・町田国際交流センターの協力で「外国のダンスとお話と」講座を実施しました。海外の民族舞踊・楽器演奏を披露し、日本に在住する外国人の体験を聞き、互いに文化を理解し対等な関係を築くことをテーマにパネルディスカッションを行いました。 ・市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」において、「身近な外国人と伝わる日本語でコミュニケーション」を実施し、外国語を母語とするボランティアと実際に交流を図りました。 ・市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」において、「誰でも一緒に楽しめるスポーツ～パラスポーツ＆フラダンスを体験して共生社会を考えよう～」を実施し、スポーツを素材に共生社会を考える機会を設けました。
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	・「障がい者青年学級」と「大人の学び直しの場 まなびテラス」を通年で実施しました。 ・市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」の一つとして、「誰でも一緒に楽しめるスポーツ～パラスポーツ＆フラダンスを体験して共生社会を考えよう～」を実施し、障がいのある方々が参加しました。もう一つの講座として「新型コロナに負けない！外出支援を支えよう」を実施し、車いす使用者などが参加しました。
課題	・社会的困難を抱えた市民自らが講座を企画することを促すなど、啓発に向けて市民のニーズをより反映させた形で学習機会を提供できるよう努める必要があります。
今後の取組の方向性	・多文化共生に関する事業は、多様な切り口で意識の啓発を図れるよう毎年工夫します。 ・社会的困難を抱えた市民が開発する学習プログラムを実施し、学習成果の発表の場を設けます。

■取組5-2 本と出会う場所の創出【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	町田市には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本に触れることができる施設が各地域にあります。これらの施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①読書活動推進にかかる連携施設数	20か所	25か所		
	②読書マップの作成	未実施	作成・公開（2020年度）		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	図書の貸出・閲覧やおはなし会がある市民利用施設との連携推進				
	本に触れることができる施設の把握	マップの作成・公開		マップの更新	
年度目標（指標①）	21か所	22か所	23か所	24か所	25か所
年度目標（指標②）	施設の把握	作成・公開	検証	更新	検証

*まちライブラリー：47ページのコラム「まちライブラリーとは？」を参照。

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	・地域文庫や市民や団体による読書活動の担い手に対しヒアリングを実施し、読書マップの作成意図や趣旨を説明することで、事業への賛同及び掲載許可をいただくことができました。 ・これらの取組の結果、読書活動推進にかかる連携施設数は24施設になりました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	・読書活動推進にかかる連携施設に本を閲覧できる市の施設や近隣市の相互利用図書館を加え、2021年3月に読書マップを作成しました。読書マップは図書館や市民センター等で配布している他、図書館ホームページで公開しています。
課題	・読書活動を推進している連携施設との今後の取り組みについて検討する必要があります。 ・読書マップの内容を充実させるため、継続して情報を収集して増やしていく必要があります。
今後の取組の方向性	・地域文庫やまちライブラリーなど、連携施設と共催するイベント等について検討します。 ・市民に広く情報を求め、読書マップを随時更新し、内容を充実させていきます。

■取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】	文化財係
--------------------------	------

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稲荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
	高ヶ坂石器時代遺跡整備進捗		整備着手		ガイダンス施設実施設計・展示実施設計建設工事完了
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計、ガイダンス施設基本計画	牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本設計・展示基本	ガイダンス施設実施設計・展示実施設計	ガイダンス施設建設工事
年度目標	八幡平遺跡整備工事	基本計画 八幡平遺跡公開	基本設計	実施設計	建設工事

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・八幡平遺跡の公園整備工事（階段、スロープ、解説板、石柱移設等）を実施しました。 ・2018年度取得した牢場遺跡内の土地の設計を行いました。 ・整備工事の状況について、ホームページでの情報発信を行いました。
課題	・文化財保護に対する市民の理解を得るため、積極的な情報発信により遺跡の認知度を高める必要があります。 ・整備事業は、国や都からの補助金の採択状況によって、工事の内容等を再検討する必要があります。
今後の取組の方向性	・2021年4月1日から八幡平遺跡を公開します。 ・八幡平遺跡の整備工事（植栽等）を実施します。 ・2018年度取得した牢場遺跡内の土地の整備工事を実施します。 ・「まちテレ」での放映、ホームページでの情報掲載、見学会の開催などを通じて、遺跡の魅力を発信します。

■取組5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存	自由民権資料館
-------------------------	---------

事業概要	所在調査・探索により発見された史料、寄贈・寄託等の申し出がある市域の各家等に残る史料を整理して、半永久的な学習・研究資源とするために保存環境を整えます。また、整理した史料は、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるよう目録を作成します。				
これまでの取組	市民ボランティアや大学等との協働により史料整理を行い、新たな史料の寄贈・寄託を受け入れながら仮目録の作成を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①史料整理数（累計）		42,000点	67,000点	
	②目録作成点数		0件	3件目着手	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	史料の寄贈・寄託の受入れ、史料整理				
	史料目録作成（1件目）		史料目録作成（2件目）		史料目録作成（3件目）
年度目標（指標①）	47,000点	52,000点	57,000点	62,000点	67,000点
年度目標（指標②）	1件目 作成作業	1件目 作成完了	2件目 作成作業	2件目 作成完了	3件目 作成作業

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	- 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民ボランティアや大学等との協働での作業が出来ませんでしたが、計約14,000点の史料整理を完了しました。 「浪江虔関係史料」、「野津田町・石坂家文書」、「小野路町・細野家文書」、「小川・細野家文書」、「つくし野・山下家文書」等の整理作業を進めています。
達成状況（指標②）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標②）	「家永三郎文庫」の目録を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により作業が遅れたため、作成・刊行が次年度初頭になる予定です。
課題	- ボランティアとの作業が制限されるため、新たな生活様式に添った活動方法を検討する必要があります。 - より多くの史料整理を完了できるよう、計画的に整理作業を進める必要があります。
今後の取組の方向性	2020年度中刊行予定の「家永三郎文庫」を早期に刊行します。 「常盤町・薄井家文書」及び「上小山田町・臼井家文書」の整理作業を進め、2021年度末に目録を刊行します。 - 計画的に整理作業を行い、収蔵史料の保管に努めるとともに、市民の利活用に供します。

■取組5-5 図書館利用者の利便性の向上	図書館
----------------------	-----

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及、書籍のデジタル化により市民の読書スタイルは多様化しています。図書館に来館しなくても市民が読書をする機会が増えるよう、電子書籍の導入を目指します。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	電子書籍サービスの導入		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	先進事例の研究調査・ 補助金の調査・ 民間活力手法導入検討		導入のための仕様作成と 実施に向けた準備		実施
年度目標	調査	検討	仕様作成	実施準備	実施

<2020年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	- 電子図書館サービスの状況（提供事業者やその提供規模など）について調査しました。 - 他市の電子図書館導入状況（導入状況や利用状況など）について調査しました。 - 現在の町田市立図書館の利用状況（年代別貸出者数や新型コロナウイルス感染症流行以降の利用状況など）について調査しました。 - 購入計画や蔵書構成について検討しました。 - これらの調査、検討を踏まえ、非来館型の新しい図書館サービスの構築や図書館サービスの非利用者に向けた新たなコンテンツとしての電子図書館サービス導入についての考え方を整理しました。 - 活用できそうな補助金の調査を行いました。
課題	- 新型コロナウイルス感染症拡大により来館での図書館利用が制限される中、電子書籍を導入する自治体が急増しており注目度が高くなっています。 - デジタルコンテンツの選定方法について検討が必要です。 - 電子書籍については活用できそうな図書館関連の補助金が少なく、他の財源確保策についても調査が必要です。
今後の取組の方向性	- 導入に向けた具体的な検討を行います。 - 財源確保に向け図書館関連だけでなく幅広く補助金の調査をします。

■取組5-6 地域資料の活用の推進	図書館
-------------------	-----

事業概要	現在、紙の媒体で管理されている地域資料は、地域活動を行っていく上で重要な資料です。これらを積極的に活用できるよう、これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ*化を進めます。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	地域資料のデジタルアーカイブ化の推進		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	地域資料活用のための計画作成	デジタル化対象資料の整理	イメージデータの作成		段階的な公開
年度目標	検討	整理	データ作成	データ作成	実施

*デジタルアーカイブ：電子図書館をはじめ、作品、文化財その他の情報をデジタル化して収集・保存・公開する活動や場の総称。

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	・2020年度以降のスケジュールを作成しましたが、全体的な導入計画の策定には至りませんでした。 ・すでにピックアップしていたデジタル化対象資料のリストについて再点検しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の防止のための休館をきっかけに、町田市立図書館独自資料「郷土小山田散歩」、「町田の地名のいわれ」、「町田の川と橋」の3件をデジタル化し、図書館ホームページに先行して公開しました。
課題	・デジタルアーカイブの公開について、デジタル化する資料選定の基準やデジタルデータの規格、公開のフォーマットについて検討し、計画として策定する必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、図書館の非来館型サービスが今まで以上に求められています。
今後の取組の方向性	・デジタルアーカイブ公開について、これまでの調査や検討も踏まえ導入計画を作成します。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、今までより非来館型サービスが求められている機会を利用し、利用者が興味を持ちそうな資料の先行公開をすすめます。

■取組5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施	図書館
---------------------------	-----

事業概要	図書館全館で利用者アンケート調査を実施し、図書館利用者のニーズを把握して、図書館サービスの改善に役立てます。				
これまでの取組	図書館全館での利用者アンケートを2009年度から3回実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	図書館利用者アンケートの実施		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	アンケート実施準備	アンケート実施と公表	事業の評価と改善		次期アンケート実施準備
年度目標	検討	実施	活用	活用	検討

<2020年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	・鶴川駅前図書館で「鶴川駅前図書館利用者アンケート」を実施し、375人から回答を得ました。集計結果から指定管理者制度導入や今後充実すべきサービスなどの意見について把握しました。 ・図書館全館で「町田市立図書館利用者アンケート」を実施し、1853人から回答を得ました。集計結果から利用実態や利用者ニーズおよび満足度を把握しました。 ・「町田市立図書館利用者アンケート」では、設問や設問数を見直し、市民ニーズや社会情勢の変化をよりの確に把握することができました。
課題	・アンケート等で得られた市民ニーズや社会情勢の変化を「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の実行にあたり反映させる必要があります。 ・民間活力の導入効果を検証するため、定期的に利用者満足度を把握する必要があります。
今後の取組の方向性	・利用者アンケートで得られた情報を、現在取り組んでいる「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の各取組みに反映させ、図書館サービスの改善に役立てます。

■取組5-8 町田の文学の継承	文学館
-----------------	-----

事業概要	継続的に収集してきた町田市の文学的財産である町田ゆかりの作家の貴重な資料を、適切に整理・保存・研究し、研究の成果を広く市民が利用できるよう公開します。また、これまでに蓄積した情報や資料を継承していくための図録や目録等を作成します。			
これまでの取組	町田ゆかりの作家の資料を収集・保存・研究し、公開しています。毎年、展覧会の成果をまとめた図録を作成しています。			
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①貴重資料の公開回数	未実施	年4回	
	②図録や目録等の作成件数	1件	2件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	公開（試行）調査	検証・調査	公開・調査	
	図録等の刊行（年1件）			
			目録等の企画・検討	図録等の刊行（年2件）
年度目標（指標①）	公開（試行）	検証	公開（年2回）	公開（年2回）
年度目標（指標②）	1件	1件	1件	2件

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	・収蔵資料を中心に「20×20原稿用紙＆ニコニコ絵本原画展」を開催し、未公開資料を含む約151点の資料を公開しました。 ・収蔵資料の公開を目的に石川桂郎、三島由紀夫、渡辺有一のミニ展示を行いました。 ・今年度の資料整理の成果を市民に知ってもらうため遠藤周作、三井永一の「収蔵資料公開記念講演会」を実施しました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休館中に、予定を前倒しして資料整理を集中的に行いました。その成果として「桜田常久文庫蔵書目録（和書篇）」「高垣葵資料目録（台本）」を作成し、ホームページで公開しました。
課題	・公開した成果等をアーカイブ化する必要があります。
今後の取組の方向性	・市民が利用しやすいアーカイブとしてホームページの整理・充実を検討します。

■取組5-9 文学財産の保存	文学館
----------------	-----

事業概要	町田市の文学的財産である町田ゆかりの作家の原稿、色紙、絵画等の特別資料を後世に残し、市民に継承できるよう適切に保存します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家の貴重図書や貴重雑誌、特別資料（原稿、色紙、絵画等）を収集し、整理、登録しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
	特別資料の登録数（累計）		575点		1,450点
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	特別資料の収集				
	特別資料の整理・登録			整理計画の作成	特別資料の整理・登録
		整理計画の作成	特別資料の整理・登録		
年度目標	850点	1,000点	1,150点	1,300点	1,450点

<2020年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の休館中に、予定を前倒して資料整理を集中的に行いました。その成果として年度目標の約6倍にあたる899点の特別資料を登録し、累計が1946点となりました。
課題	継続的な資料の整理・登録が必要です。
今後の取組の方向性	- 整理計画の見直しを行い継続的に整理・登録を行います。 - 資料の整理・登録状況を元に、計画的な資料収集を検討します。